

小学校低学年段階からの学習支援のための

“広島県学びの基盤に関する調査”を活用しましょう！

広島県教育委員会
義務教育指導課

慶応義塾大学 今井むつみ「算数文章題が解けない子どもたち ことば・思考の力と学力不振」（岩波書店）より

学校での勉強についていけない子どもがいる。学びを楽しみと思えない子どもがいる。この子どもたちを支援することは社会の義務である。支援するために何が必要か。その子どもたちの学力不振の原因を明らかにし、そのうえで、手立てを講じなければならない。

1 “広島県学びの基盤に関する調査”とは？

小学校低学年段階における学習のつまずきの要因等を把握するため、慶應義塾大学教授の今井むつみ先生をはじめとする有識者の方々の御指導のもと開発した広島県独自の調査です。

教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等について、主として低学年を対象に実施し、一般の学力調査では見取れない児童のつまずきを把握し、児童の支援を行うものです。

2 低学年段階からの学習支援に取り組みましょう！

「ことばのたつじん」と「かず・かたち・かんがえるたつじん」で構成される本調査を、県内の全ての小学校等で活用できるよう、問題や解答をはじめとした関係資料を、広島県教育委員会のホームページに掲載しました。

ホームページでは、調査の結果から予想される児童の学習のつまずきと、考えられる支援の手立て例を参考資料として示しています。

自校の児童の実態に応じて、個々の「できた」「分かった」という達成感や学習意欲を大切にしたい取組を進めてみませんか？

「広島県学びの基盤に関する調査」については、広島県教育委員会義務教育指導課のホームページに掲載しています。こちらの二次元コードからアクセスいただけます。



「ことばのたつじん その3」より

(1) 何をしていますか？



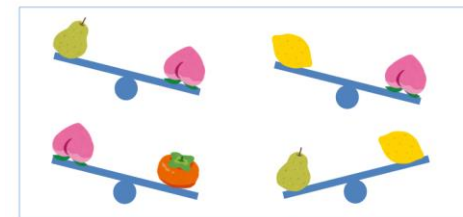
しんぶんし
新聞紙を びりびり います。

? ← 答えが 分からないときは ここに○をつけましょう

「かずとかたち・かんがえるたつじん その1」より

(3)おもさをくらべましょう。

答えが 分からないときは 下の？に○をつけましょう。



1 1番 おもい (だもは どれになるか ア〜エの中から 1つえらんで ○をつけましょう。



? ← 答えが 分からないときは ここに○をつけましょう

「かずとかたち・かんがえるたつじん その3」より

1 下のよな 0から100までの 数の線が あります。つぎの 数があると 思うところに 線を 引きましょう。

ただし ものさしは つかっては いけません。

答えが 分からないときは 下の？に○をつけましょう。

(1) 18



? ← 答えが 分からないときは ここに○をつけましょう